

平成28年度 自己評価及び学校関係者評価書

平成29年3月1日
市立札幌大通高等学校

本校の重点目標

- (1) 自己を高め、目標に向かって、自己実現を図ることができる生徒を育てる。
- (2) 意欲・熱意を持って主体的に学習し、興味・関心を深く探究する生徒を育てる。
- (3) 主体的に自己の生き方や進路について探究し、様々な困難を乗り越える逞しい生徒を育てる。
- (4) 規範意識を身につけ、勤労を尊ぶ、有為な社会人として自立していける生徒を育てる。
- (5) 多様な価値観を受容し、他者を認める寛容な心を持ち、豊かな人間関係を築ける生徒を育てる。

本校の経営方針

教職員は情熱を持ち、信頼される教育者としての使命を自覚し、各種研鑽に努めるとともに、次のことを考慮した経営体制を整える。

- (1) ガイダンス機能を充実させ、HR複数担任制や小グループ担任制をとる。
- (2) スクールカウンセラーの配置と各種相談体制を整える。
- (3) インターンシップ等を積極的に導入する。
- (4) 学校行事・部活動等は、三部合同を基本とし、共通の活動時間を確保する。
- (5) 教育関連施設や家庭・地域等と連携し、双方向の協力体制を確立する。

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善方向	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
総合	大通高校での学校生活に対する安心感。高校入学前と比べての人間関係の広がりや活動の変化について。	A	本校での生活に対しては生徒・保護者・教職員とも全体的に高い評価をしている。今後も、「生徒が安心して通える学校」としての雰囲気を持続していくことが望まれる。また、入学後に友人関係の広がりや活動が積極的になってきた、という評価を保護者や生徒から得られた点は、大通高校の教育効果だと考えられる。今後も多様な生徒への柔軟な対応力を継続していく。	A	A
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・今までの「学校づくり」の取り組みを評価します。 ・保護者からの評価が高いことは、大変評価に値することであり、大通高校の重要性が窺われる。 			
学習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容の理解度について ・単位修得状況について ・学力の定着について ・授業のわかりやすさ ・基礎基本を定着させる学び直しについて 	B	授業理解、単位修得に関して、教員生徒からの評価は平均以上である。生徒の実態に合わせた授業を展開しているものと判断できる。一方、学力差の広がり大きく、「進学に対応できる学力」を望む保護者も多いことから、指導内容のあり方を検討していく。	A	B
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の要望に一方的に振り回されることなく、生徒の現状と目標をしっかりと聴いてあげてください。 			

キャリア・進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や校内外で学習した進路についての話を参考にする ・予備校や塾の利用 ・職場体験やインターンシップについて ・保護者の進路意識 ・進路に応じた科目設定 ・進路指導につながるキャリア教育 	B	インターンシップ、職場体験について保護者の認識は高い。生徒も様々な場面で進路意識を高めていると考えられる。キャリア教育に関して、今後整備・整理がすすめば教員からの評価も高まると思われる。進学意識を高める指導も検討していく。	A	B
学校関係者評価者による意見		生徒が「社会の中の私」として自覚生きていけるよう、狭義の進路指導を超えてサポートしていきましょう。			
多様な支援と外部連携	<ul style="list-style-type: none"> ・教員との関わり ・教員以外の大人(カウンセラー等)との関わり ・保護者の学校運営への参加 ・生徒へのサポート体制 ・生徒の関する教員間での情報共有 ・カウンセラーと学校の連携 	A	教員との関わり、カウンセラーとの関わりについて三者とも平均以上の評価をしていることから、「連携・支援」に関して、目的に達していると考えられる。特に教員間での情報共有、カウンセラーとの連携については好ましい結果が現れており、継続が望まれる。	A	A
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・社会に近い学校として、外部連携の取り組みについて評価します。引き続き継続してください。 ・生徒たちが気軽に先生と係わることができると感じていることは大事である。その一方で保護者が学校運営にあまり参加する意欲が見られないのが残念である。 			
生徒指導・特別教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の人間的な成長 ・大人への信頼 ・学校生活への期待 ・基本的なマナー・礼儀の定着 ・諸活動を通しての生徒の成長 	A	「伸び伸びと学校生活を送って欲しい」という保護者の思いに対し、教員は「生徒の人間成長」を感じている。生徒も自分自身の成長を認識している。適切な生活指導、生徒指導、特別活動が実践されていると評価できる。今後も、生徒理解に基づいた大通高校らしい教育活動を継続する。	A	B
学校関係者評価者による意見		<ul style="list-style-type: none"> ・大通高校らしい、教育活動の理念を保護者に伝えていくための方針も引き続き検討してください。 ・学校側の問題ではないのかもしれないが「総合」「支援」の気持ちと、本項目の評価の違いが若干気になる。 ・生徒の素直な気持ちが集約されていると思う。保護者の本校への係わり方に工夫が必要かもしれない。 			
大通高校として評価を受けて今後の課題		A評価の項目については、今後も活動を継続していくべきだと考える。「学習」に関しては学力差の大きな集団への指導方法を研鑽していかなければならない。高校と保護者との関係性を深めていく方策を検討していく。			

<評価> A:よく達成されている B:ほぼ達成されているが改善も必要 C:不十分である
(A 4.0～3.1 B 3.0～2.1 C 2.0～)